

会派代表質問

「災害から命と財産を守ろう。」
防災・減災対策を急げ！」
市議会公明党 前之園 孝光 議員



関連質問
秋葉好美議員



関連質問
山田繁子議員



個人質問

①核廃絶へ市長の思い ②防災対策
③市職員の適正確保 ④エアコン設置
蛭田公二郎 議員



問1 平成25年10月の大型台風で大網駅周辺の小中川、金谷川が洪水になり、大網駅南口の田んぼが冠水し、また北口の大竹地区では床上浸水もありました。小中川は千葉県山武士木事務所が管理していますが、圏央道大網スマートインターチェンジから大網街道へのアクセスもあり大網街道の拡幅等が予定されていると聞いています。大網街道と小中川の改修等の予定について質問いたします。

答 主要地方道千葉大網線のスマートインターチェンジ接続部から駒込交差点までの道路整備については、現在、千葉県では整備計画の検討を行っているのと伺っています。また二級河川小中川の上流部であるJR大網駅から池田橋までの約900メートルの区間の整備についても、昨年度より整備の検討に着手していると伺っています。市といたしましては、引き続き千葉県に対して整備の要望を行ってまいります。

問2 小中川があふれないように、河道掘削の予定、それから草刈りの予定につきまして質問いたします。

答 小中川の除草については、現在入札手続中であり、9月下旬に受注者決定予定と伺っています。また河道掘削については、取水期を避け、10月以降に現状を確認し、緊急度の高い河床を選定し工事を発注する予定であると伺っています。

問3 金谷川の改修工事の推進について、これまで平成24年2月定例議会の一般質問以来、何回も質問、提案して参りました。これまで金谷川の改修工事については、事業区間460メートルのうち117メートルが完了しておりますが、詳細についても質問いたしますが、詳細についても質問いたします。

答 平成25年度から工事に着手しており、今後の計画についてはまず今年度は、要害橋の下流部の護岸工事を約15メートル実施します。また要害橋上流部において、既設の河川から完成後の河川へ切り回す工事を行います。来年度については、現在橋梁部において湾曲している仮設道路を元の道路形態に復元する予定です。要望 旧国道の工事現場、要害橋の仮設道路が湾曲しているところでの交通安全対策と金谷川・要害橋の改修工事の推進について要望しました。

問4 大網駅東土地区画整理事業の千葉銀行前交差点からアミリイ前交差点までの都市計画道路3・4・18号線が11月9日に開通の見込みです。JR大網駅から千葉銀行の交差点までの都市計画道路3・4・9号線には電柱が立っており、地震等で倒れると災害時には消防車や救急車など緊急車両の通行が困難になると心配する市民の声があります。電柱を地中の共同溝に埋設して道路上にある電柱をなくする取り組み、すなわち無電柱化の要望をいたしました。

問5 通学路の安全対策については、私から平成24年6月議会の一般質問で提案し、その後毎年、教育委員会、PTA、東金警察署等と合同で点検し、改善されてきました。これまでの実績について、また本市における幼稚園、小学校、中学校のブロック塀等の安全点検と改善実績について質問いたします。

答 平成24年8月に実施した通学路の緊急合同点検では、市全体で43カ所の要対策箇所があり、この内現在までに39カ所の対策が完了しました。また、本年、学校内の危険なブロック塀など4カ所を改善しました。

その他、⑥みずほ台、季美の森みどりが丘、みやこ野、ながた野団地の街路樹の安全対策について⑦防災ハンドブック改定について⑧ヘルプカードの普及推進について質問、要望しました。

問 白里地域の防災・減災ということで洪水ハザードマップを見てみますと、南白亀川をたどっていくと黄色の部分が増えています。このエリアはどういうことなのか、またどんな影響があるのか伺います。

答 洪水ハザードマップは、市内を流れる南白亀川や真亀川など大雨で増水し、堤防の決壊や河川から水があふれた場合を想定し、浸水する範囲や深さを示したものです。南白亀川は水田地帯を流れている河川であり、特に小中川との合流地点の上流における地盤の低い水田部では、浸水の深さが2メートル未満と想定されるエリアです。浸水の深さが2メートルの場合、住居の2階の軒下まで浸る。ですから床上浸水などの影響を及ぼすことが想定されます。

問 今、答弁を伺いましたが、床上浸水などの影響を及ぼすとのことですが、そのような場合、市民の皆様にとどのような注意喚起をされているのか伺います。

答 水害による被害の未然防止、軽減を図るためハザードマップを作成し全戸配布しています。またホームページの掲載や転入者に対し配布しています。また防災行政無線やその他、多様な伝達手段を活用し、身の危険を感じる場合は早めの避難を開始するよう呼びかけています。

問 真亀川の排水機場の管理状況とポンプの補修点検や今後の改修工事の必要について伺います。

答 排水機場は、排水路5ヶ所に設置されています。設置位置は真亀川の下流側から波乗り道路脇の第3排水機場、次に産業道路脇の黒潮橋排水機場、次に伊勢化学工場裏の枝川排水機場の3施設は建設課が管理しています。更に上流側に北今泉第1排水機場と北今泉第2排水機場の2施設は、農業振興課が管理しています。災害時等に正常に稼働するよう保守点検を定期的に行っています。

日本が発生する次の巨大地震は、南海トラフと関東地域の地震と言われています。いつ発生するか分からない地震、災害から命と財産を守る取り組みが急務でございます。

問 津波避難路の誘導灯について津波避難路の誘導灯は現在まで173基が設置済みと伺っているが、今年度の設置予定について、また今後の計画について伺う。

答 蓄電池式LED誘導灯の整備は全体で173基が完了し、今年度は10基を整備予定である。今後は、避難路沿いで、既設防犯灯のない区間へ蓄電池式LED誘導灯の新規設置整備を進める。

問 火災報知器の設置について火災報知器の設置に関しては、法律で義務化されています。

①本市の火災発生状況について、②火災報知器の設置状況について、③高齢者や障害のある方など、火災報知器を設置することが困難な方々への取り組みについて伺う。

答 ①本市における過去5年間の火災件数平成25年24件、平成26年13件、平成27年28件、平成28年24件、平成29年19件。

②本市の火災報知器の設置状況は総務省の調査結果で平成30年6月末現在74%、また引き続き消防本部と連携し設置促進に努めます。

③火災報知器を取り付けることが困難な高齢者や障害者世帯を対象に、山武郡市広域行政組合消防本部の職員が訪問し、取り付け支援事業を実施している。

問 74%の設置率との答弁であったが、どのような調査だったのか。

答 全世帯ではなく、無作為という事で、大網、柿餅、季美の森南、みどりが丘、ながた野の217世帯が抽出され調査が実施された。

要望 今後も防災減災など市民の立場に立った安全安心への更なる取り組みをお願いします。

①核廃絶へ市長の思いについて 問 今、核廃絶をめぐる重要な局面を迎えている。改めて、市長の核廃絶と平和への思いを伺いたい。

市長 世界で唯一の被爆国の国民として、一人でも多くの人々に核兵器のない世界の実現を訴えていかなければならないと思います。

②防災対策について 問 避難準備情報の名称について内閣府は昨年12月改訂を行った。避難準備情報の名称とそれぞれの意味について、日ごろから市の広報などで市民に周知されたい。災害が起きるからでは間に合わない。

この際、確認するが、避難準備情報が発令された場合には必ず緊急避難場所を開設することか？

答 発令した場合にありましては、避難場所の開設をしていきます。

問 「緊急避難場所」と「避難所」の区別について、東日本大震災が起きたことを契機に、これも変更された。どう周知しているか？

答 ホームページや市内全戸にお配りしたハザードマップにも記載されています。

問 行政は知らせる努力、住民は知る努力が重要。ハザードマップは市民が良く目を通して身近に置いておく必要があるが、もし、紛失したというような場合は問い合わせれば配布するの？

答 市の安全対策課、中部コミュニティセンター、白里出張所等にも配置しておりますので、必要な方は各施設でお受け取り頂きたい。

問 防災無線は、外の風雨で聞こえない。個別受信機は現在いくつ配布されているか？

答 平成30年8月1日現在3314台となっております。

問 東金市、九十九里町などの近隣の市町では無料配布している。是非無料化について前向きに検討されたら。

③市役所職員の適正確保について 問 市職員数は、正職員が523人に対して、臨時職員など非正規職員数が287人。3割以上を占めている。非正規職員については、平成32年4月から会計年度任用職員という新たな制度がスタートする。制度の概要を説明されたい。

答 従来の臨時職員、非常勤職員制度の運用にあたりまして、各地方公共団体によって任用、勤務条件等に関する取扱いが統一されていないというよう、不明確な状態であることから、制度として適切な運用を確保するために会計年度任用職員が創設されたところです。

問 新たな任用制度にあたっては非常勤職員の処遇改善に繋がるように、また、職場の声を踏まえた上で対応するように努力されたい。

④子育て・教育環境の整備について 問 7月24日、菅官房長官が、児童生徒への安全、健康を守るための猛暑対策は緊急の課題だとして、小中学校へのエアコン設置を政府として補助するという考えを示した。その後、国や県からの情報提供や指示などがあつたか？

答 文部科学省としては、全公立小中学校にエアコンを来年夏までに設置するという方針は特に示していないとの見解だったことが、過日、情報として提供されました。

問 今年の異常な猛暑を体験に体感する中で、この山武、長生地域でも大きく市町村の動きがあり、一気にやろうという状況になっている。「一気の設置」に向けて更なる努力をお願いして質問を終わります。

なお、④の「子育て・教育環境の整備について」は、時間切れの為、エアコン問題のみを質問し、後は次回に回すことにしました。